

第66回全国学校保健研究大会報告

日 時 : 平成28年10月27日、28日

場 所 : 札幌コンベンションセンター

第6課題 学校環境衛生

研究協議の内容

1. 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について
2. 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について
3. 児童生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動の在り方について

講演

「学校環境衛生活動と学校環境衛生基準」

法政大学スポーツ健康学部

教授 鬼頭 英明 先生

学校環境衛生活動の進め方については、PDCAサイクルに則り、連続した流れで進める。環境衛生検査の年間計画を立て、環境衛生検査の実施については、定期検査は学校薬剤師が中心となるが、日常点検については教職員が中心的な役割を果たすことに留意する必要がある。すべての教職員が共通理解のもとで日常点検を行うことが重要であり、EBMに基づく実践を行う必要がある。また、学校薬剤師は、チーム学校の一員であるという意識をもつことが大切である。

熊本県薬剤師会

今回の熊本地震被災後の学校が果たした役割や学校薬剤師として関わった経験から、緊急災害時に適切な活動が行えるよう、平素から学校における災害対策・避難所運営の確認や見直しを行い、より現実に即した詳細なマニュアル作りを行う必要がある。学校環境衛生の臨時検査を実施し、衛生環境が悪化しないよう手洗い等の指導を行うことが重要である。

札幌市立手稲中央小学校

児童に学校環境衛生に関心を持たせる為に、水道の蛇口を下に向けておくことを、落下細菌の実験で証明することを実践した。視覚で確認でき児童の意識が向上した。

群馬県立高崎高等学校

FF式石油ストーブを使用しているため、CO2濃度が基準値をはるかに超えてしまうことがあるため、様々な条件で生徒保健委員会が実験し、発表している。生徒自ら対応策を考え、実践している。手稲中央小学校の報告でもあるように児童、生徒が環境衛生に関心を持ち、自らが対応を考える方向に導くことが重要であると思われる。

第66回全国学校薬剤師大会報告

日 時 : 平成28年10月27日(木)

場 所 : 札幌パークホテル

表彰式

- (1) 文部科学大臣表彰学校保健及び学校安全表彰
32名受賞
(鳥取県より都田修史先生、岡山県より岡三佐子先生、広島県より政岡醇先生)
- (2) 日本薬剤師会学校薬剤師賞
9名受賞
(島根県より工道英男先生受賞)
- (3) 日本薬剤師会学校薬剤師活動協力者感謝状
7名受賞
(山口県より三島京子先生受賞)

特別講演

演 題 : 音楽のちから

講 師 : 札幌交響楽団

コンサートマスター 大平 まゆみ 先生

音は空気の振動で発生する。バイオリンは、400年位前から確率され、新月の夜に伐採された木で作られる。玄は羊の腸を混入させた金属性のもので出来ており、弓は馬の尾の毛で出来ている。モーツァルトの曲を聴くと物質的に元気になり音楽療法に効果があるが、ベートーベン音楽療法に使われない。また、音楽は思い出が結びつき、認知症等の患者にバッファの聴かせても反応しないが、文部省唱歌では、口ずさむ。東北の地震の時には、一昼夜、歌を歌い続けて救助された人もるように、音楽は、人を元気つけるちからがある。バイオリン演奏を交えながらの講演で楽しく聴くことが出来た。